

令和3年5月

普及活動報告

コギク巡回を実施（JA京都コギク部会 亀岡支部）

（亀岡市：10日）



ほとんどのほ場で摘心作業済み、側枝出始め



キクスイカミキリ防除を助言

JA京都コギク部会亀岡支部の部会員を対象に、JAと普及センターで各農家の栽培ほ場を巡回し、生育状況の確認と今後の作業について指導しました。

今年は春先の気温が高く推移したためか例年より苗が早く大きくなり、およそ1週間定植作業が早くなっています。巡回では一部のほ場でキクスイカミキリの被害を確認し、各生産者に注意喚起しました。また、巡回時に気付いたことは、JAと毎月発行している「コギク栽培管理情報」に反映し、生産者に情報提供していきます。

場 所 亀岡市全域

令和3年度JA京都コギク部会亀岡支部農家：6戸

京都府南丹農業改良普及センター

令和3年5月

普及活動報告

担い手養成実践農場開始式を開催 ～自然農法で長年の夢を形に～

(亀岡市：21日)



普及センター所長から設置承認通知書を手交

亀岡市東本梅町に担い手養成実践農場（経営開始型）が設置され、各関係機関の出席の下、開始式が行われました。

普及センター所長並びに亀岡市役所農林振興課長から研修承認通知書を手交しました。関係機関や指導者から激励の言葉を贈られた研修者は、農業を生業にしたいという長年の思いと、将来は次世代に繋げられる指導者になれるくらい頑張りたいと決意を表明されました。

後継者不足の東本梅町では、研修者が将来地域の担い手になってもらえればと期待されています。普及センターは、充実した研修ができるよう継続して支援していきます。

場 所 亀岡市役所

出席者数 11名

京都府南丹農業改良普及センター

令和3年5月

普及活動報告



現地実証ほの様子(上：現行品種 サチホゴールデン、
下：新品種 ニューサチホゴールデン)

ビール大麦の現地実証ほ（品種切替） の坪刈り調査を実施

(亀岡市：24日)

亀岡市では、来年産からのビール大麦品種切替に向け現地実証を行っています。今回の坪刈り調査をもって、現地調査を無事終了することができました。

今回、立毛の状態（生育や登熟の様子等）を確認したところ、現行品種との差は感じられませんでした。今後は、坪刈り調査の結果を取りまとめ、生産者に新たな品種の特性や栽培のポイントなどの情報を提供し、品種切替が円滑に進むよう引き続き栽培指導に努めます。

場 所 亀岡市河原林町
(現地実証ほ)



坪刈り調査に取り組む新採職員

契約面積：令和3年産 約87ha
(令和2年産 約93ha)

京都府南丹農業改良普及センター

令和3年5月

普及活動報告



排水対策を強調するため撮影打合せ



読み上げ文言も調整しながら収録

令和2年度京丹波町黒大豆栽培面積：約45ha、
小豆栽培面積：約25ha

ケーブルテレビを通じた情報発信 ～令和2年度の黒大豆・瑞穂大納言小 豆栽培を振り返って～

(京丹波町：24・31日)

南丹普及センターでは、京丹波町ケーブルテレビの「農業情報コーナー」で技術情報の発信を行っており、今回は昨年度の黒大豆及び瑞穂大納言小豆栽培を振り返り、今年の栽培に向けて注意点を呼びかけました。

撮影はそれぞれの栽培予定地で行い、黒大豆は排水対策が実施されているほ場を、小豆は小麦との二毛作ほ場を選定しました。昨年度の極端な気象条件による黒大豆の湿害・生育不良、小豆では播種遅れ・成熟遅れなどの発生について解説し、その様子は各1週間放送されました。

情報センター職員から分かりやすい語句選びや話し方について提案があり、普及員からも番組の構成や編集に対してアイデアを出すなど積極的に意見交換し、撮影は進みました。今後は、作物の栽培時期に応じた技術情報や、農家の声についても情報発信していきます。

場 所 京丹波町栽培ほ場

京都府南丹農業改良普及センター